

佐久市議会議員 議会報告

高柳 ひろゆき 通信

発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6 電話 0267-58-4367



●ご挨拶

新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、新しい生活様式を余儀なくされていますが皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

医療従事者、高齢者、基礎疾患をお持ちの方々より順次ワクチン接種が始まり、希望の光となる事を祈るばかりです。

さて、議員としての任期も満了まで僅かとなりました。

今回の通信は、1期4年間で振り返り主な活動についてご報告申し上げます。

●平成29年度 所属委員会 (任期:2年) 議会運営委員会 / 経済建設委員会 / 広報広聴特別委員会副委員長

《主な委員会活動》 経済建設委員会で鳥取県日南町の視察について

道の駅「にちなん日野川の郷」は、少子高齢化と人口減少による地域コミュニティ機能の低下、観光経済拠点の不足による、集客力や情報発信力の不足等の課題克服を目指して設置された施設です。最大の特徴は、お買い物いただいた商品1点につき1円を寄付していただき、その寄付金で森林整備を行い森林のCO2吸収能力を高め、道の駅事業で排出されるCO2を相殺し地球温暖化に貢献するものです。佐久市議会に於いても、昨年9月定例会で、官民一体となって温室効果ガスゼロを目指す行動の推進を求める決議が全会一致でなされ、この決議を受け市長と議長の連盟で「佐久市気候非常事態宣言」が出された事は、意味のあるところでした。視察の成果を、今後の具体的な政策で提言してまいります。

《主な一般質問》 (6月定例会) 幹線道路の整備について

中佐都バイパスの未整備区間1.1キロメートルは、なかなか整備が進まないという地域住民のご指摘により、川西地区(浅科・望月)の皆さんにおかれましては緊急搬送時の命の道であり、中佐都地区の皆さんにおかれましては暮らしの道であることを力説し、早期の着工を提言しました。

**結果** 用地買収の進捗を図りながら、29年度中に一部工事に着手する答弁を引き出しました。その後、関係地域の議員からも質問があり、用地買収に要した時間と令和元年東日本台風の影響もあり事業の進捗は遅れたが、いよいよ本年3月に完成予定。



●平成30年度 《主な委員会活動》 佐久平浅間小学校3年生児童との交流について

広報広聴特別委員会で議会事務局担当者、委員長と議員の仕事を理解していただくために、わかりやすくクイズ形式を取り入れ企画しました。また市のお金の使い方を身近に感じていただくために、市の予算460億円を100万分の1に縮小し、46,000円と仮定し、模擬紙幣を使い、予算の配分を小学生の皆さんに実際体験していただきました。このような活動を通じて、小学生の皆さんにも議会や行政の仕事に少しでも興味をもていただければ、幸いに存じます。

《主な一般質問》 (9月定例会) 道の駅「ヘルシーテラス佐久南」を取り巻くインフラ整備について

4月28日に佐久南ICから八千穂ICの14.6キロメートルが開通し、交通量も大幅に増え道路環境が著しく変化したことから、危機感を感じた地元住民の要望により、国道からヘルシーテラス佐久南への進入路である市道の拡幅及び駐車上の入口表示の明確化を提言しました。

また、後日交通渋滞緩和のために、熱心な住民の方と地元区長に同行し市役所の生活環境課へ伺い、右折信号の必要性を要望しました。

**結果** ヘルシーテラス佐久南に進入する市道は、道路法第95条の2第1項に基づき長野県公安委員会との協議で決定したもので、拡幅することはできませんでしたが、駐車場の明確表示と右折信号の設置が後日決定しました。



《主な一般質問》 (9 月定例会) 浅科地区のデマンドタクシーの改善について

平成 30 年 12 月定例会に引き続き、浅科地区の抱える病院、買い物、金融機関への交通の不便さを訴え、デマンドタクシーの利便性向上を提言しました。



**結果** 令和 2 年 12 月 2 日より片道@400 円で北循環エリア（佐久平、浅間病院、市役所等）へのデマンドタクシーの乗り入れが可能になり、浅科地域の皆さんの交通の利便性が向上しました。

《災害復旧活動》 令和元年度東日本台風災害復旧の一週間を振り返り

- 13 日 塩名田地区、御馬寄地区の床上浸水家屋、農耕地の土砂流入、矢島地区の用水氾濫、入ノ沢地区の農耕地のり面の崩落、望月地区天神の菅公社の参道崩落等の被害状況を視察。
- 14 日～15 日 浅科地区の被害状況の取りまとめ、浅科支所を訪問し支所長に被害状況確認と意見交換。
- 16 日 未曾有の被害を被った臼田の入沢地区を、会派全議員で被害状況を視察。
- 17 日～18 日 被災家屋の片づけのお手伝い。
- 19 日～20 日 塩名田区長の号令下、地区役員やブラジル人留学生ボランティアの皆さんと、災害ごみの撤去のお手伝い。



被災した臼田入沢地区の谷川 →→→ 現在の状況



被災した塩名田地区の家屋 →→→ 現在の状況



●令和 2 年度 《主な委員会活動》 開かれた議会を目指して議会改革を推進

議会活性化委員会では、議会をより身近に感じていただくために、議会の仕組みや議員の活動を手引きとしてわかりやすくホームページに掲載しました。また、経費や事務局職員の労力軽減を目的としたタブレットの導入や市民の皆さんに開かれた議会を目指すための、委員会中継についても取り組み中です。先進地の視察を終え、議論を重ねていますが、活動期間が満了のため、時期委員会へ引き継ぐ事となります。

《主な一般質問》 (6 月定例会) 生活ごみのスプレー缶の処理について

ごみ出し時のスプレー缶の穴あけで、全国的に事故が多発している状況を鑑み、佐久市に於けるスプレー缶の処理方法の確認をしました。

**結果** スプレー缶の処理については、広報誌やホームページに必ず火気の無いところでガス抜き等を使用し完全にガスを抜ききってください（穴あけは不要）の明記がなされ、安全が担保されました。

《提出議案に反対》 佐久ケーブルテレビ光ファイバー化整備議案に反対

1 月 31 日に開催された臨時議会で、市は佐久ケーブルテレビ(株)へ 3,960 万円の追加出資と 2 億 8,452 万円の貸付金及び 9 億 2,151 万円を 6 年負担し、整備する事業が議案として提出されました。

私たち新緑会は、将来的な※FTTH 化には賛成であるが、多額の予算を投入する事業にも係わらず、市民の皆さんへの説明が全くなく、そのうえ佐久ケーブルテレビ(株)が示した経営改善計画に具体的な事業が盛り込まれていない事、将来的な加入率達成に無理があることを考慮して、議案に反対しました。結果は残念ながら賛成者 13 名、反対者 9 名で議案は可決されてしまいましたが、今後も是是非非の立場を貫き、市民の皆様の税金が有効活用されるようしっかりと確認してまいります。

※FTTH とは、光ファイバーを伝送路として一般家庭へ引き、テレビ、インターネット、電話などのサービスを統合して提供する通信サービスの総称です。

議会では、新型コロナウイルス感染症対策に係わる提言や、災害時の議会や議員の行動、感染症への対応を盛り込み議員自らが迅速かつ適切な対応に努める「佐久市議会業務継続計画」を策定し、市民の皆さんが安心して過ごせる豊かな社会づくりに取り組んでいます。また、議会の見える化を目指して議会活動報告の動画を佐久市議会のホームページで配信しています。尚、私も昨年の末に 4 年間の集大成としてホームページを作成しましたので、佐久市議会のホームページともどもご高覧ください。

携帯 090-4613-0021 E-mail:shionada5586@ybb.ne.jp <https://takayanagi-hiroyuki.net/>



皆さんのご意見、ご要望をお気軽にお寄せください！！